

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 中濃特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年5月11日(月) 10:00~12:00
- 3 開催場所 中濃特別支援学校 特別棟会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	大谷 弘	各務原市手をつなぐ育成会理事長
副 会 長	加納 稔	中央工機株式会社社長
委 員	市原 真紀	ひまわりの丘第一学園園長
	遠座 未菜	中部学院大学短期大学部幼児教育学科講師 (欠席)
	安井 晴哉	向山自治会長
	小椋 幸子	関市立南ヶ丘保育園園長
	北瀬 美幸	社会福祉協議会会長
	伊縫 正人	P T A会長
学 校 側		
	田中 久仁子	校長
	高井 和彦	事務部長
	井川 匡	教頭
	河田 恭子	教頭
	西尾 志保	小学部主事
	亀谷 真也	中学部主事
	古田 康子	高等部主事
	西尾 誠	教務主任
- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) 学校教育目標、目指す学校像、教育指導の重点
 - 教職員のはたらき方改革
 - アクションプラン2026
 - 地域参加型による授業の推進と情報発信
 - 小学部、中学部、高等部の教育重点
 ⇒承認を得た
 - (2) 学校運営組織、校務分掌
 - 教職員が向上心を持ち働きやすい学校づくり
 - 6つの校務分掌と業務概要
 ⇒承認を得た

(3) 教育課程、年間行事計画

- 各部の教育課程
- 教科等を合わせた指導
- 自立活動
- 年間行事計画（本年度より前期・後期の二期制に変更）

意見1：コロナ禍を経て各学部の運動会の実施方法が変化してきている。

⇒承認を得た

(4) 高等部作業製品の販売価格

- 6つの作業班
- 各作業班の製品と価格

⇒全ての作業製品の販売価格について承認を得た

(5) 授業参観

(6) 意見交換・感想

意見1：児童生徒数の減少により学校全体が落ち着いた印象であり、その環境を生かした教育が重要である。児童生徒一人一人のできることを見付け、伸ばしてほしい。また、自分の思いを伝える力に加え、相手の話を聞く力についても育成していく必要がある。

意見2：児童生徒は日々の様子に応じた支援を受けながら成長しており、丁寧な関わりが行われている。学校と連携し、児童生徒一人一人の様子や課題を共有しながら育てていくことが重要である。生活の場としての視点も踏まえつつ、自立に向けた力を育成するため、今後も協力していきたい。

意見3：地域としてボランティア活動を通じて学校と関わっているが、高齢者の方が元気に活動してもらえるよう、今年度も高等部の作業班と交流していきたい。今年度はボランティアと生徒の活動が別々にならないよう、一緒に活動できるようにしてほしい。

意見4：授業におけるきめ細やかな指導は大変参考になる。特別支援学校が近くにあることで、多様性を学べる素晴らしい環境にあり、子どもたちの心豊かな育ちにつながっている。小さい頃から、お互いに支え合うことの大切さを学ぶこともできるため、今後も交流を深めていきたい。

意見5：小学部から高等部まで個に応じた指導が積み重ねられている。食育を重点とした取組についても、生きる上で大切な力である。生活年齢に合わせた先生方の関わりがあるからこそ、立派に成長できると感じた。児童生徒は日によって様子が違うかもしれないが、様子を見ながら育てていただいていることが分かった。今後も福祉の視点から活動に協力していきたい。

意見6：児童生徒がとても落ち着いている。ボランティア活動に多く関わっているが、その際は共に活動して一緒に楽しむ、働くといったことを大切にしている。地域で暮らすことを考えると、お互いが自然と関わるのが大切であり、その中で理解が生まれると感じている。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、会長及び副会長が選出され、出席した全ての委員により、本年度の本校の教育計画、組織等、高等部作業製品価格について協議を行い、承認が得られた。

様々な立場の委員から貴重な意見交流を行うことができた。また、授業参観を通して、本校での取組に対する具体的な評価を得られた。めざす児童生徒像の具現化に向けて、地域との連携を図り、各種機関の協力を得ながら、教育活動を充実させていくために、引き続き各委員の協力をいただくことを求め散会した。